

4. 資 料
(1) 調査票

東京消防庁

令和3年消防に関する世論調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には全員に、後日、謝礼（ＱＵＯカード５００円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

- 1 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。（質問は21問、所要時間は20分程度※です。）
- 2 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の説明に沿って回答してください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご多忙中大変恐縮ですが、9月29日（水）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

※所要時間には個人差があります。

※ 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

◆ パソコンからの回答はこちらから

<https://research-ccng.com/index.php/658247?lang=ja>

◆ スマートフォンからの回答は右記ＱＲコードを読み取ってください。

なお、受付画面に下記のＩＤとパスワードを入力後、回答してください。



スマホ用QR

I D		パスワード	
-----	--	-------	--

インターネット回答につきましても、9月29日（水）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ先】 設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。

東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係（担当：赤松）

電話：03-3212-2111 内線 2325 FAX：03-3212-1027



ご協力いただきありがとうございます。
質問数は21問です。(所要時間 20分程度)
ご回答のほどよろしくお願いいたします！

I 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q1 あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな地震が発生することを知らせる緊急地震速報がテレビやスマートフォンから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に _____ ）

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

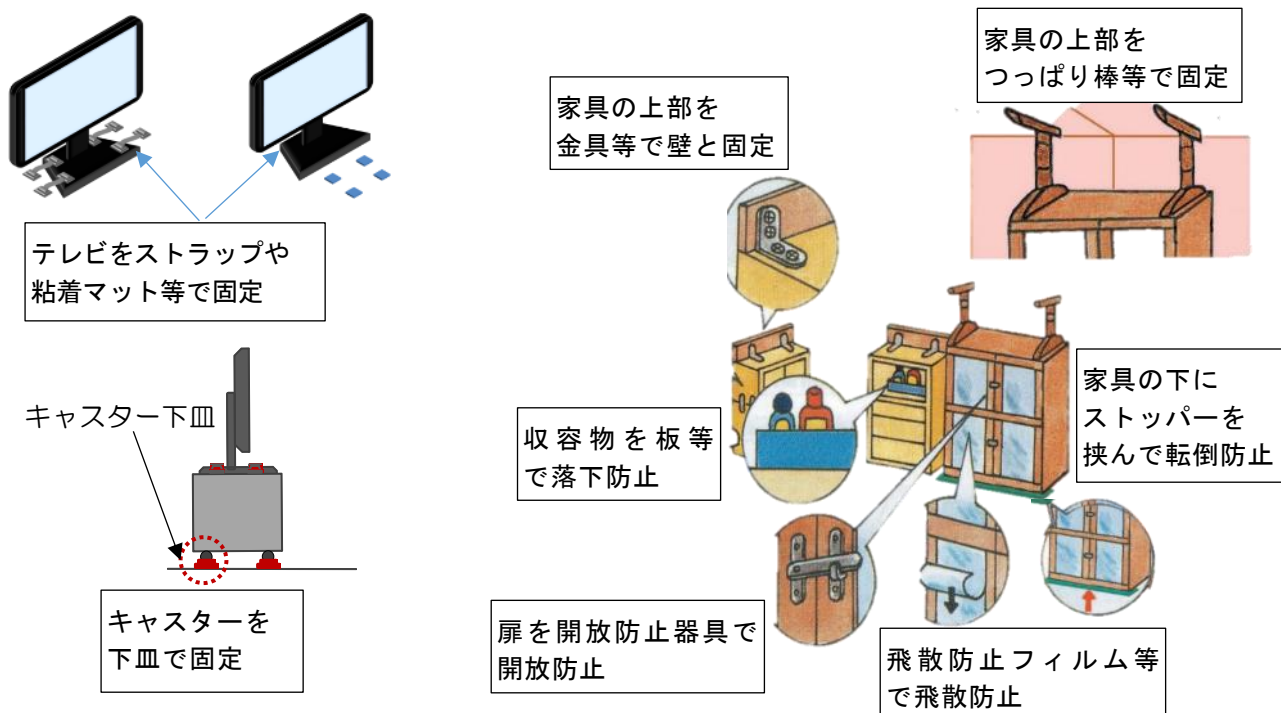
- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3へ)

参考

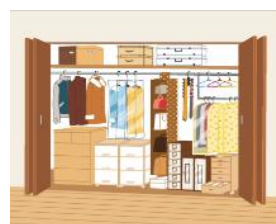
近年、日本で発生した大きな地震では、家具類が転倒、移動、落下したことにより、多くの方が負傷しています。

【図】

①「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例



②「倒れる可能性のある家具類がない」例



クローゼットへの集中収納

Q3 Q2で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 地震で家具が倒れたとしても危険と思わない
- 4 器具を売っている場所がわからない
- 5 器具が高価である
- 6 対策方法がわからない
- 7 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 8 壁や家具にキズを付けたくない
- 9 建物が免震又は制振構造である
- 10 その他（具体的に)

II 救急に関すること

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。救急車を呼んだことがない方は回答せず、Q5へ進んでください。

Q4 あなたが救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があったと思った
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）
- 7 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 8 家族や知人、居合わせた人に薦められた
- 9 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された
- 10 その他（具体的に)

※ 回答番号10は、救急車を呼んだ理由が番号1～9に該当しない場合に選択してください。

「#7119」について

Q5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119※」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

※ 「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。



応急手当についてお聞きします。

Q6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 受けたことがない（Q7へ）
- 7 その他（具体的に

（6以外を選んだ方はQ8へ）

Q7 Q6で6を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 講習を受ける時間がない
- 2 講習に行くのが面倒
- 3 講習を受ける必要性がない
- 4 講習を受けなくても、応急手当ができる
- 5 講習をやっていることを知らなかった
- 6 新型コロナウイルス感染拡大により講習が実施されなかったため
- 7 新型コロナウイルス感染の恐れがあったため
- 8 その他（具体的に

Q8 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 応急手当の方法を知っているから、実施できる (→ へ)
- 2 応急手当の方法を知っているが、実施できない (→ へ)
- 3 応急手当の方法を知らないので、実施できない (→ へ)

Q9 Q8で2を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当を出来ない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 かえって悪化させることが心配だから
- 2 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 3 感染などが心配だから
- 4 怖いから
- 5 自信がないから
- 6 その他（具体的に)

Ⅲ 防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q10 あなたが最近1年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車による災害疑似体験
- 8 インターネットや動画を活用したリモート防災学習
- 9 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 10 その他（具体的に)
- 11 どれも体験・参加したことがない (→ へ)

(11以外を選んだ方はへ)

Q11 Q10で11を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 新型コロナウイルス感染拡大により訓練が実施されなかったため
- 8 新型コロナウイルス感染の恐れがあったため
- 9 その他（具体的に)

Q12 あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器の使い方
- 2 スタンドパイプの使い方
- 3 119番通報のしかた
- 4 火災による煙が発生した際の避難のしかた
- 5 いずれも知らない

IV 消防団に関すること

消防団※についてお聞きします。

Q 1 3 消防団を知っていますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 知っている (→)
- 2 名前は聞いたことがある (→)
- 3 知らない (→)



※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

Q 1 4 Q 1 3で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→)
- 3 入団したいと思わない (→)

Q15 Q14で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討したら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 活動内容の詳細
- 2 活動の頻度
- 3 活動時間の長さ
- 4 実際に活動している人の声
- 5 報酬及び手当等の詳細
- 6 入団方法
- 7 受講できる講座や研修内容
- 8 その他（具体的に _____）

Q16 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

V 火災予防に関すること

住宅用火災警報器※¹についてお聞きします。

Q17 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況※²を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している
- 2 一部にしか設置していない
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない (→Q20へ)
- 4 全く設置していない (→Q20へ)

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 住宅用火災警報器は、全ての居室(居間、ダイニング、子供室、寝室など)、台所、階段に設置が義務付けられています。

Q18 あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認※を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。
- 2 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。
- 3 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。
- 4 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。
- 5 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。
- 6 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。

※ 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

Q19 住宅用火災警報器の本体交換の実施状況について、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 実施している
- 2 実施していない

Q20 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検※について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている
- 2 定期的な点検が必要なことを知っている
- 3 どちらも知っている
- 4 どちらも知らない

※ 住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。



続いて、消防行政への要望について教えてください。

VI 消防行政に対する要望

Q21 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

A 火災などの災害に関する取組

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒劇物などの特殊な災害への対応
- 5 消防団の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他（具体的に)

B 救急業務に関する取組

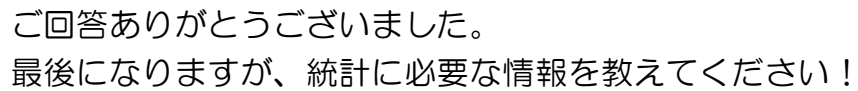
- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（＃7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に)

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実
- 6 その他（具体的に)

D 火災予防に関する取組

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に)



ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

1 持家 (家族所有含む)
2 賃貸

消防との関わり 消防に関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある
- 5 消防署に郵送やメールを活用して相談や手続きを行ったことがある
- 6 東京消防庁のホームページや公式アプリを活用したことがある
- 7 特に関わりはない
- 8 その他（具体的に

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。
ご協力いただきまして本当にありがとうございました！



東京消防庁についてさらに詳しく知りたい方はこちらへ！

- 東京消防庁ホームページ ⇒ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>
- 東京消防庁公式アプリ ⇒ ダウンロードは下記QRコードで



QRコード